

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	岡山県			代表者名	伊原木 隆太
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部デジタル推進課	連絡先電話番号	086-226-7432
担当者役職	主事	担当者氏名	中野 孝一郎	連絡先E-mail	
住所	700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail			

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	幹部職員向けDXセミナー
概要	本県では、岡山県DX推進指針を策定（R3.10月、R5.2月改訂）し、デジタル化に取り組んでいる。DXを進めるにあたり、アンテナの高い職員はDXに理解を示し、積極的にデジタル化・効率化に努めている一方で、決裁権を持つ幹部職員のDXに対する理解が乏しいため、組織体制や財政面での支援が少なく、通常業務もある各部局がDXの取組を行う余裕がない。そのため、まずは幹部職員に対し、DXの必要性を理解させるセミナーを企画し、全庁的に行う必要があることを理解させ、予算・組織面から各部局がDXに取り組みやすくすることで、行政サービスのDX化を進め、県民が使用するサービスのデジタル化や県内産業分野等へのデジタル化支援などを行えるようにし、県民サービスの向上を図る。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	49	令和6年7月1日	講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月2日	講演(実地)	13時00分	15時00分	30
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	岡山県庁	最寄駅	県庁通り	
	所在地	岡山県岡山市北区内山下2-4-6	最寄駅からの交通手段	徒歩	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	本県の幹部職員・所属長を対象に幹部職員としてデジタル時代に求められる考え方及び幹部職員としてDXにどのように向き合っていくべきかについて、デジタルの用語等ではなくマインドセット面を重点的に講演をいただき、本県の幹部職員・所属長のDXマインドセットの醸成を図ることができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	96人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	96			

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本県では、岡山県DX推進指針を策定（R3.10月、R5.2月改訂）し、デジタル化に取り組んでいる。DXを進めるにあたり、アンテナの高い職員はDXに理解を示し、積極的にデジタル化・効率化に努めている一方で、決裁権を持つ幹部職員のDXに対する理解が乏しいため、DXに取り組むための組織体制や効率的なサービスを導入するための財政面の支援などが少なく、通常業務もある各部局がDXの取組を行う余裕がない。また、DXについて、デジタルが苦手だから関係ない、DXはデジタル推進課の業務で自分たちが取り組むという意識が希薄である。組織の決定権を持つ幹部職員にDXに取り組む必要性について理解をしてもらい、庁内ないしは岡山県全体でDXに取り組む風土を醸成したい。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXを進めるにあたり、アンテナの高い職員はDXに理解を示し、積極的にデジタル化・効率化に努めている一方で、幹部職員のDXに対する理解が乏しいため、組織体制や財政面での支援が少なく、通常業務もある各部局がDXの取組を行う余裕がない。そのため、まずは幹部職員に対し、DXの必要性を理解させるセミナーを企画し、全庁的に行う必要があることを理解させ、各部局がDXに取り組みやすくすることで、県民サービスの向上を図る。 本講演はDX推進の動機付け→意識啓発→具体的な施策・事業立案の流れの中で、「意識啓発」に位置付けている。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	下記の内容を説明していただくことにより、これからの幹部職員・所属長のあるべき姿及びDXへの向き合い方を共有することができた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX推進の意義(目指すべき理想・あるべき姿を設定し、ユーザ目線で再構築)</li> <li>・DXを進める上で最も重要なこと(デジタルは手段であり変革が重要)</li> <li>・DXを進める上で管理職に意識してほしいこと(モチベーションを下げない仕組みづくり)</li> <li>・これからの管理職の在り方</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	講演を通じ、DXを推進する意義やDXを推進するにあたって幹部職員・所属長として意識しておいて欲しいこと等を説明いただくことにより、幹部職員・所属長のDX推進に向けたマインドセットを醸成することができ部下である一般職員がDXに取り組みやすい環境の構築する契機となったとともに、官民連携など地域のDXの事例も紹介いただき、本県の行政だけでなく地域社会のデジタル化についての視座も深まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 講演のため、具体的な成果物はない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演後、質疑応答の時間を設けたため当日現地でのアンケートは実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	幹部職員のDXマインドセット醸成。それにより、県民の利便性を向上に繋がる各部局の行政のデジタル化の取組を令和7年度末に向けて加速させる。また、産業分野やくらし分野を所管する部局においても、幹部職員のDXへの理解を深めることで、デジタル技術やデータを活用した新規事業の設定や市町村や産業分野への技術的な助言が行えるようにし、データ分析等を活用した地域経済の向上や県民生活に関係するデジタルサービスを向上させ、産業の競争力があがり、生活のしやすい社会を構築する。	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

